

taskforce21 第8号 2015.5.26

通巻8号 2015年(平成27年)5月26日発行 発行所/一般社団法人タスクフォース21事務局 <http://www.taskforce-21.com> ©会員限定頒布・禁無断転載©
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-6 アライビル7階 株式会社ノラ・コミュニケーションズ内 tel. 03-3204-9401 fax. 03-3204-9402 info@noracom.co.jp



例会報告

●第110回例会
講演、プレゼンテーションの概要は本号掲載の講演要旨の通りです。
2015年4月7日 アキバプラザ 出席者36名

INDEX

【第110回例会講演要旨】	
講演①	2
「電力・ガス自由化への対応 ~電力・ガスシステム改革の現状~」	
講師：一般社団法人全国LPガス協会 事業推進部長 難波良二氏	
講演②	13
「売れる営業パーソンの育成方法 ~トップセールスは創られる~」	
講師：株式会社新規開拓 代表取締役社長 朝倉千恵子氏	
【業界ニュースダイジェスト】	14
【110回例会アンケート】	23
【幹事会報告/次回例会案内】	23
《受講報告》	24
【タスクフォース21「会報会員」募集中】	28

講演要旨の掲載にご理解・ご協力をいただいた講師の方々に感謝申し上げます。

電力や大手都市ガスなど事業者の中には、エネルギーの自由化をビジネスチャンスととらえているところもあるようですが、エネルギー外の事業者でもそう考えている企業は多いようです。「新しい市場が生まれる」気配に敏感な企業たちは、情報収集に余念がありません。その象徴的な動きが、広告最大手・電通のプロジェクトチーム「DEMS(ディームス)」です。

チーム「DEMS」は、電通グループが持つ「エネルギー」と「コミュニケーション」に関する専門的な知見・ノウハウを活用し、「顧客」(クライアント企業)の新規事業における戦略立案から商品開発、チャネル開発から広告コミュニケーションに至るサービスをワンストップで提供することを目的に、今年(2015年)2月に発足しました。電通はそのニュースリリースで、「2016年の電力小売自由化、2017年のガス小売自由化など、エネルギー産業構造が史上最大の転換期を迎える」としています。

電通は、2014年12月に沖縄を除く9電力会社管内で20~60代男女5,000名を対象とした「電力自由化基幹調査」を実施しています。それによると、電力会社を変更したいかの問いに、「すぐにも変更したい」3%、「変更する方向で検討したい」14%、「検討はするが変更するかどうかわからない」57%、となっています。

そして、電通のすごいところは、これをもって「計74%が今後電力の変更を検討すると回答している」と総括していることです。

既存のエネルギー業者の中では、「自由化になっても、流動するのは一部」とみる“楽観論”も多いですが、ビジネスチャンスは待つのではなく、自ら創るものと考えらるならば、こうした電通的発想も必要かもしれません。

【事務局】